

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS with OKINAWA INTERNATIONAL SCHOOL

We practice SDGs (Sustainable Development Goals) with quality international education that continues to explore the truth

真理を探究し続ける 質の高い国際教育で  
〈持続可能な開発目標〉を実践

ESDで世界を変えるための17の具体的目標 ESD=Education for Sustainable Development



環境 人権 文化

※上図は「日本ユネスコ国内委員会教育小委員会からのメッセージ「持続可能な開発のための教育(ESD)のさらなる推進に向けて～学校等でESDを実践されている皆様へ～」から引用

ユネスコ憲章  
(前文)  
一部抜粋

「文化の広い普及と正義・自由・平和のための人類の教育とは、人類の尊厳に欠くことのできないものであり、かつすべての国民が相互の援助および相互の関心の精神をもって果たさなければならない神聖な義務である」「平和が失われないためには、人類の知的および精神的連帯の上に築かれなければならない」オキナワインターナショナルスクールはユネスコ憲章に共鳴し、教育機関としてSDGs(持続可能な開発目標)を実現するためにESD(持続可能な開発のための教育)に積極的に取り組んでいます。

## OIS Group

OKINAWA INTERNATIONAL SCHOOL  
オキナワインターナショナルスクール®

〒901-0611 沖縄県南城市玉城字富里143番地  
143 Fusato, Tamagusuku, Nanjo-city, Okinawa 901-0611 JAPAN

098(948)7711

admission-center@ois-edu.com



OKINAWA INTERNATIONAL SCHOOL  
沖縄で唯一 国際バカロレア (IB) 一貫教育

保育・幼稚園  
那覇キャンパス

小学部  
南城キャンパス

中学部  
南城キャンパス

高等部  
南城キャンパス

学校法人 PST アカデミー  
沖縄国際学院 高等専修学校  
大学入学資格付与 指定校

公式ウェブサイト



資料請求



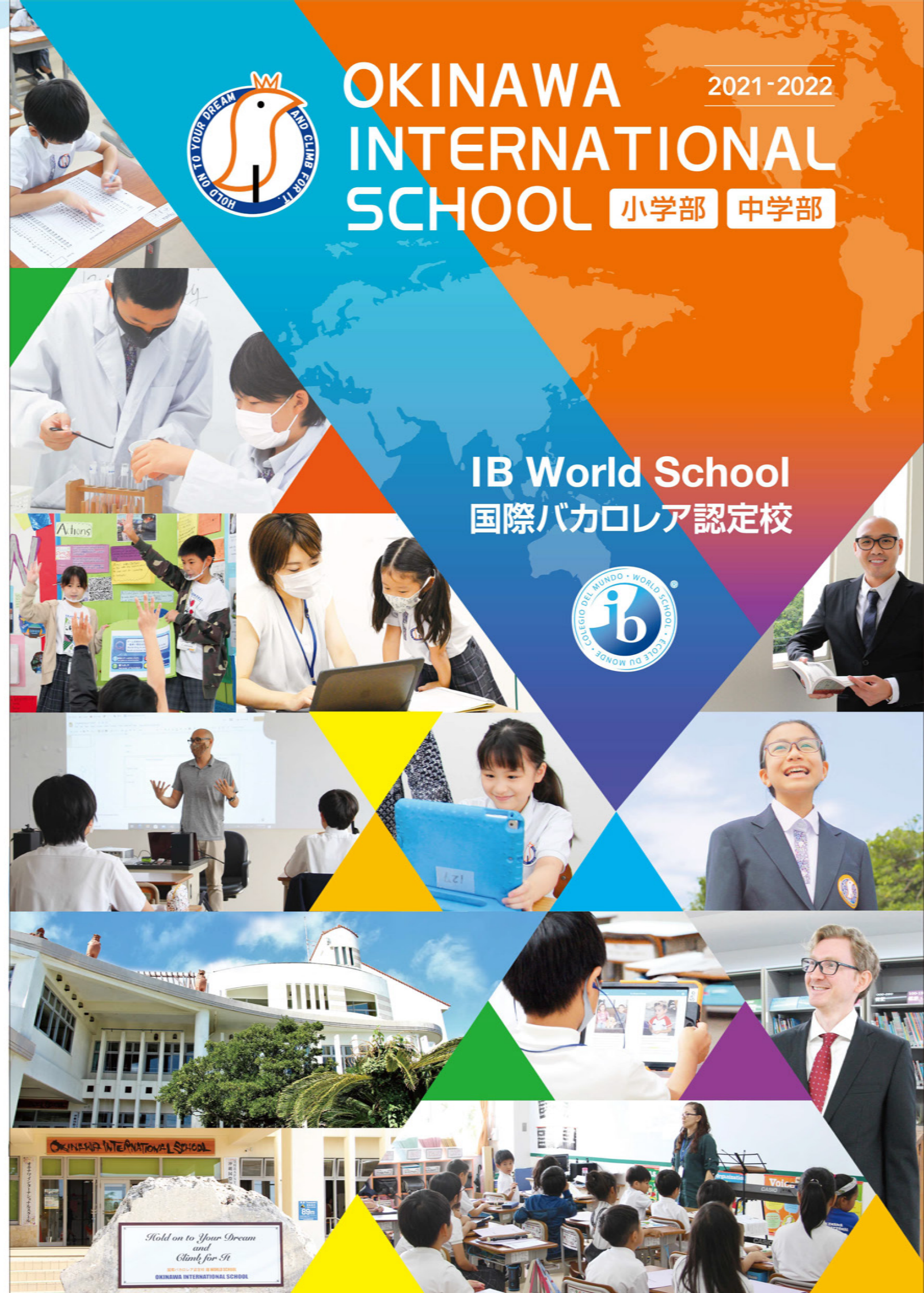
最新情報を発信します



OKINAWA INTERNATIONAL SCHOOL  
小学部 中学部

2021-2022

IB World School  
国際バカロレア認定校



# 世界基準の知識・語学力・道徳心。 国際社会から広く求められる人材を育てる 沖縄初・唯一の【国際バカロレア一貫教育校】

Okinawa's First and Only International Baccalaureate Continuum School  
Standing for education that produces world-class knowledge, language skills and  
morality to enable and empower globally active learners.

子どもたちが成長しながらも失ってはいけないもの、それは「素直な眼」です。  
素直な眼を持ち続けることが、将来の「真理の探究者」への成長につながります。  
私達の教育は、受験のためのものではありません。子どもたちが、自身の未来を  
自らの力で、より良い社会へと創造していけるようにするための教育です。  
その実現のために、私達は国際バカロレア教育プログラムを選び、実践しています。  
教育で世界をつなぎ、ローカルから世界を考えるグローバルエリートを育てています。

Be a Seeker of Truth! 真理の探究者となれ!

What children should not lose as they grow up are their "honest eyes".  
By keeping and nurturing the unique feature, students are empowered to develop into genuine  
seekers of truth. The education we offer is not to prepare students for mere examinations.  
It is to help children create a better society for themselves. In order to achieve this, we have  
chosen the International Baccalaureate Education Program as the educational framework for  
this school. The programme allows us to connect the world through education and nurture  
global elites who think about global matters from a local perspective.

理事長／校長 知念 正人  
School Director/Principal Masato Chinen

## Be a Seeker of Truth!

### 『真理の探究者』となれ

#### Okinawa International School の理念

全ての学習者が「真理の探究者」と成るべく、教育という視点で民族・国籍・  
言語・宗教・政治の違いを超えて、お互いを理解し、尊重し、交流を図りなが  
ら学習者自ら課題を見出し、考え、行動し、社会へより良い変革をもたらす  
ことを志高く掲げるグローバルエリートを育てます。

#### Okinawa International School の使命

私達の教育は「人権と平和」、「自然環境との共生」、「多文化理解」の3つを  
基軸とした探究教育を力強く推進するために、「地域から国際社会を理解  
する力」、「コミュニケーション力」、「論理的思考」、「数理的分析力」、「ICT・  
AIスキル」、「批判的・創造的思考」、「高度な倫理観」を各教科間で連携する  
教育カリキュラムを提供します。

Philosophy

Mission

# 人・心・自然 そして健康と長寿の島 〈ブルーゾーン・沖縄〉をグローバル教育の舞台に

High Standard Global Education in Okinawa: The island and  
its people known for good health, longevity, beautiful nature  
and oceans (one of the Blue Zones in the world), and mindfulness.



## 世界中で活躍する「国際教養人」を育てるために なくてはならない環境——それが「沖縄」です

|                    |                                              |
|--------------------|----------------------------------------------|
| 沖縄には人の心の豊かさがあります   | Open-minded Okinawans                        |
| 平和を尊ぶ概念があります       | Honoring universal peace                     |
| 自然とのゆたかな共生があります    | Coexistence with nature                      |
| 歴史・文化の継承と誇りがあります   | Pride in Okinawan history and heritage       |
| 異文化・多様性への敬意があります   | Respect for different cultures and diversity |
| グローバルな人材教育の歴史があります | A history of international relations         |

### 「ブルーゾーン」とは?

健康で長寿な人々が数多く居住する地域の総称です。  
この概念はベルギーの人口学者／ミシェル・ブーラン  
とイタリアの医師／ジャンニ・ベスガ、長寿者が多い  
イタリア・サルデーニャ島のバルバギア地方の地図上  
に「青色マーカー」で印をつけたことに由来します。

- イタリア・サルデーニャ
- 日本・沖縄
- アメリカ・カリフォルニア州・ロマリダ
- コスタリカ・ニコヤ半島
- ギリシャ・イカリア島

## School History スクールの歴史

|          |                                                        |
|----------|--------------------------------------------------------|
| 2003年 4月 | 那覇市で初めて、英語環境での幼児保育を目的とした「オキナワインターナショナルスクール」を設立         |
| 2005年 8月 | 児童・生徒数の増加と小学部開校のため校舎を那覇市楚辺へ移転                          |
| 9月       | 1歳児クラス 開講                                              |
| 2006年 4月 | 小学部を新設                                                 |
| 2008年 5月 | 国際バカロレア プライマリー・イヤーズ・プログラム(PYP)の候補校となる                  |
| 2011年 7月 | 沖縄で初めて、日本でも20校目の「国際バカロレア プライマリー・イヤーズ・プログラム(PYP)認定校」となる |
| 2012年 2月 | 第1回エキシビション(小学部6年生)                                     |
| 3月       | 小学部／第一期生 卒業                                            |
| 4月       | 小学部・高学年および中学部のための別館スクールを那覇市壺川に開設 中学部／第一期生 入学           |
| 2014年 1月 | 中学部が国際バカロレア ミドル・イヤーズ・プログラム(MYP)の候補校となる                 |

|           |                                                                     |
|-----------|---------------------------------------------------------------------|
| 2015年 3月  | 中学部／第一期生 卒業                                                         |
| 2016年 1月  | 第1回コミュニティプロジェクト(中学部3年生)                                             |
| 4月        | 制服をリニューアル                                                           |
| 7月        | 中学部が「国際バカロレア ミドル・イヤーズ・プログラム(MYP)認定校」となる                             |
| 2017年 10月 | 小学部5年生・6年生と中学部1年生～3年生がベトナムへ修学旅行                                     |
| 2018年 1月  | 台湾の苗栗縣後龍鎮新港國民中小學(Xin-Gang Elementary and Junior High School)と姉妹校となる |
| 5月        | 「沖縄国際学院 高等専修学校(2020年4月 開校)」が国際バカロレア ディプロマ・プログラム(DP)の候補校となる          |
| 2019年 7月  | 南城市の新キャンパスへ移転                                                       |
| 2020年 4月  | 学校法人 PSTアカデミー 設立                                                    |
| 4月        | 「沖縄国際学院 高等専修学校」開校                                                   |
| 12月       | 国際バカロレア ディプロマ・プログラム(DP)の認定校となる                                      |

# IB Continuum Programs 【小学部・中学部・高等部】国際バカロレアの一貫教育

学校教育法による学年区分

公立・私立小学校 [小学1年生～小学6年生]

公立・私立中学校

[中学1年生～中学3年生]

公立・私立高校 [高校1年生～高校3年生]

OISの学年



小学部  
Elementary

Primary Years Programme

【PYP】国際バカロレア  
プライマリー・イヤーズ・プログラム

Grade 1 (1年生) Grade 2 (2年生) Grade 3 (3年生) Grade 4 (4年生) Grade 5 (5年生)

中学部  
Middle School

Middle Years Programme

【MYP】

Grade 6 (6年生) Grade 7 (7年生)

高等部  
High School

Diploma Programme

【DP】国際バカロレア  
ディプロマ・プログラム

Grade 8 (8年生) Grade 9 (9年生) Grade 10 (10年生) Grade 11 (11年生) Grade 12 (12年生)

国内の大学へ  
To Japanese universities

海外の大学へ  
To Overseas universities

世界を舞台に活躍していく  
「グローバルエリート」に成長

OIS has its own unique learning environment

## OISが持つ独自の学習環境



School Logo Message ～ロゴマークに込める想い～

外を囲む青い円は、沖縄の「O」、Oceanの「O」を模しています。未来へ羽ばたく鳥の足とまっすぐな瞳を「I」で表現します。そして「S」のイメージで鳥の姿を描きます。青い円の外側まで突き出すくちばしには、沖縄を飛び出して日本へ、世界各地へ飛躍していく将来像を。王冠には、常にトップに挑んでいく勇ましい決意の心を込めています。

〈HOLD ON TO YOUR DREAM AND CLIMB FOR IT.〉～夢を持って！そこをめざし登り続けなさい～

### Enhanced English immersion 【英語4技能の育成】

英語で授業を行うため、英語4技能を段階的に身につけていける独自のプログラムを実践します。英語力の指針は、小学3年生で英検3級レベルを、4年生・5年生で準2級、5年生・6年生で2級、中学卒業時に準1級取得を目標にバイリンガルを目指しています。



### Advanced Japanese learning 【日本語能力も重視】

一般的なインターナショナルスクールではバイリンガルの人材育成を目的に「英語」を多用しますが、真のバイリンガルとは「1つの問題を異なる言語で、同じレベルで解決する能力」を指します。この観点から本スクールでは、英語の基礎力と日本人の母国語である日本語能力を「均等に伸ばし高める指導」を大切にしています。教室では小学1年生から論理構成に基づく「日本語の4技能」を高める授業を実践。これを大きな特徴とします。



### ICT integrated education 【充実したICT環境】

本スクールでは、2012年から小学部の児童にiPadを提供し、速いスピードで進化するICT環境に適応するための教育環境を整えています。2018年からは小学部にLife Tech(ライフテック)クラスを導入し、論理的思考力を持ったICTスキルを育成しています。



### 沖縄を「知る・学ぶ」授業

**しまくとぅば** 沖縄は長い歴史の中で、独特の文化や風習を生み出してきました。とくに「琉球語(=しまくとぅば)」は代表的な「琉球のアイデンティティ」で、本スクールではこのテーマを大切に学びとるための探究クラスを設けています。この学びは、国際バカロレアプログラムが標榜する多文化理解、相互の尊重、平和な世界の創造へと結びつきます。

**空手** 2011年より放課後のクラブ活動の一つとして行っていた空手を、今年度から本格的に授業に取り入れました。沖縄を発祥の地とする空手は、いまや世界に広まっています。沖縄のアイデンティティを体感しながら黒帯をめざして鍛錬することは、学ぶ者の心を強くします。自らの目標に向け、困難を乗り越えながら成功をつかんでいく精神力を養います。

Rich cultural experience  
in Okinawa



# IB Continuum School



IB Continuum School

OISの理念を達成するために「最高水準の国際教育」を導入

国際バカロレア 認定校

Primary Years Programme  
Middle Years Programme  
Diploma Programme

Advanced international education program

### 最先端の国際教育プログラム

本スクールは、2011年7月に国際バカロレア プライマリー・イヤーズ・プログラム(PYP:Primary Years Programme)、2016年7月にミドル・イヤーズ・プログラム(MYP:Middle Years Programme)、2020年12月にディプロマ・プログラム(DP:Diploma Programme)の認定を取得しました。国際バカロレアは、スイス・ジュネーブに本部を置く国際バカロレア機構が提供する、世界で最も権威のある国際教育プログラムの一つです。

Becoming a committed global citizen

### 真の国際人となるための学び

国際バカロレアプログラム(IB)の特徴は、横断的な教育内容にあります。教科書偏重、教師中心、成績優先の教育ではなく、科目や学年が相互に連携しながら、自己、社会、国、世界の成り立ちなどを学んでいきます。こうした環境の中で、子どもたちは物事を深く探究し、多角的に考えていくようになります。自分で考えて行動することの意義が授業に組み込まれています。生徒たちには、自分が学んでいることがテストや受験のためだけでなく、世界と交流していく「真の国際人となるための学び」であることを理解させる指導をしています。

IB Learner Profile IBプログラムの学習者像



IB Programs IBプログラム 3つの教育課程

DP  
ディプロマ  
プログラム  
Diploma  
Programme

DPとはIB(国際バカロレア)のディプロマ・プログラム(17歳・18歳)。通常 日本における高校2年・3年次に実施する。

MYP  
ミドル  
イヤーズ  
プログラム  
Middle Years  
Programme

MYPとはIB(国際バカロレア)のミドル・イヤーズ・プログラム(11歳～16歳)。小学6年生より開始し、中学の3年間を経て、高等部10年生までの5年間で実施する。

PYP  
プライマリー  
イヤーズ  
プログラム  
Primary Years  
Programme

PYPとはIB(国際バカロレア)のプライマリー・イヤーズ・プログラム(3歳～11歳)。3歳児～5年生までの間に、6つのテーマをもとに探究学習していく。

Applying global standards to  
empower students in Okinawa

### 沖縄で世界基準の全人教育を

IBのカリキュラムは、知的発達や人格的成長、情緒や社会性の発達に力を入ると同時に、「言語」「人文科学」「理科」「算数・数学」「美術」の各教科の学習にも取り組んでいます。すべての児童・生徒が、思考力や表現力、倫理観、研究性、異文化への理解と寛容性を育み、偏見のない心を養います。豊かな人間性と国際通念を持つ「真のグローバルエリート」を沖縄から。私たちは、国際バカロレア認定校として、沖縄の地で世界トップレベルの教育が受けられる環境を提供し続けます。



# Elementary 小学部

Grade 1  
1年生

Grade 2  
2年生

Grade 3  
3年生

Grade 4  
4年生

Grade 5  
5年生

Enriching students' potential through 5 years of progressive and globally-centered education

## 知性と国際感覚を養い「現在から未来への大きな可能性」を拓いていく5年間

OISの小学部は、国際バカロレアのプライマリー・イヤーズ・プログラムにあたります。児童は、このカリキュラムを通して物事を深く探究し、国際的視野を培い、知識が増えていくことの喜びと、学ぶことの意義・意欲を身につけていきます。また、社会の成り立ちを学習する中で、相手を尊重する気持ちを学び、信念を持って自分の意見をまわりに伝える力を身につけます。さらに、探究してきたテーマを振り返って検証することによって、学びの質をさらに高め、自分の力で問題を解決していく行動力も養います。知識や感性のグローバルな成長を通じて、児童の現在から未来に大きな可能性を拓きます。

A modern style of education based on a transdisciplinary approach to explore topics and contents

### 1つのテーマを複数の教科で探究学習

PYPを学びの軸に、児童自身が探究することの楽しさを感じ、そのプロセスや方法を理解させながら成長をサポートします。固定観念にとらわれず本質をとらえさせる指導で、子どもたちは身の周りのことや社会全体の問題について深く考えるようになります。学ぶことに前向きなIB学習者として、知識、身体、感性の全人教育を実践します。

Future career after Elementary Education

### 小学部からの進路

IB continuum education ~国際バカロレア (IB) の一貫教育~  
「国際バカロレアの一貫教育」を求めて、多くの在校生が「OISの中学部」へと進んでいます。

OKINAWA  
INTERNATIONAL SCHOOL

小学部 Elementary

PYP 国際バカロレア  
プライマリー・イヤーズ・プログラム

OKINAWA INTERNATIONAL SCHOOL

中学部 Middle School

MYP 国際バカロレア  
ミドル・イヤーズ・プログラム

IB学習者として、新たな探究課題へ。  
知識・技能・人間性を進化させます。

### 「進路相談デスク」 が万全にサポート

OIS中学部への進学や、公立小学校からの転入学など、あらゆる進路相談にお答えします。



A curriculum that integrates and values the Okinawan culture and identity

### 「沖縄」のアイデンティティも大切に

感受性豊かな小学生の時期に、「沖縄のアイデンティティ」という、もう一つの大切な学びも。「沖縄」が舞台の国際バカロレア校として、郷土の生活・文化・歴史などを学ぶ「しまくとぅばと空手」のクラスを開設しています。IB学習者の使命である「平和な世界を築くこと」にも通じる独自の指導方針です。

Resonate with childrens' senses

The enjoyment of learning, the ability to think, and the expansion of knowledge

## 児童の五感に響かせる 学びの楽しさ・考える力・知識の広まり

カリキュラム Pick Up  
UOI 探究型授業

多様なカリキュラムで他に類を見ない教育を実践しています。UOI(Unit of Inquiry)とは、IBカリキュラムの中核をなすもので、児童たちが人生で優れた能力を発揮するために必要な、知識・スキル・概念・行動などの必須要素を学んでいきます。単なる勉強だけでなく学際的な探究プログラムで、幅広くバランスのとれた概念的な学習体験を提供します。

児童は最初のうちは不安や緊張に包まれますが、日が経つにつれて力をつけ始め、スキルや自信を深めて挑戦を楽しむ姿に変わっていきます。


カリキュラム Pick Up  
Japanese 日本語

昨年度から小学部の1年生～5年生では、教科書の枠を超えてUOI(探究学習)のテーマに沿った文学作品を取り入れています。ペアワークやグループワークなど児童の興味を刺激するスタイルで、インターネットで検索したり、活発にコミュニケーションしながら学習します。将来、MYPやDPで求められる文学作品を読み解ける力の育成にもつながります。

初めは授業やスクールの中だけに留まっていた学習が、やがて帰宅後や休日の自主的探究に発展。互いに刺激し合って学ぶ姿に変化します。


カリキュラム Pick Up  
Math 算数


児童は算数を学ぶことに意欲的で好奇心旺盛です。常に共同作業で協力し合って探究し、理解と応用を深めながら能力を積み重ねていきます。

算数の授業は「探究クラス」に基づく横断的な学習です。授業には探究型とプロジェクト型の両方を取り入れ、つねに複数の視点から考え、算数の知識や理解を実生活と結びつけていきます。このカリキュラムを通じて、児童は探究心や思慮深さ、豊富な知識、反省力、バランス感覚、思いやり、心の広さ、挑戦する姿勢などを一歩ずつ身につけていきます。

カリキュラム Pick Up  
Life Tech ライフテック


児童たちは次第に、iPadを自己表現のツールに使用したいと意識しはじめます。自分が持つスキルを存分に発揮し、挑戦し続ける人へ成長します。

Life TechクラスではICT学習を推進しています。児童個々にiPadを配布し、低学年ではその基礎的な使い方からビジュアルプログラミング、アプリを使ったポスター作りなどを行っています。中高学年では、編集アプリを使った動画作成や、プレゼンテーションに使うスライドの使い方などを自由に触りながら学習。PYPの最終学年で行うエキシビションでも大きな成果を発揮します。

カリキュラム Pick Up  
English 英語


言語能力の成長は、単独で教えられるものではありません。国際バカロレアでは、国際的な視野を持ち、寛容さと理解力をもって様々な概念を受け入れていく学習者を育成します。英語では、「読む」「聞く」「書く」「話す」「見る」「発表する」などのコアスキルを中心に指導します。児童は習得した英語能力を、世界と交流するためのスキルとしてユニークに活用し始めるのです。

児童は最初のうちは英語でのコミュニケーションに戸惑いを感じます。しかし成長するにつれ、自由に自信を持って自分の意見を述べるようになります。

カリキュラム Pick Up  
P.E. 体育

体育では1年間を通して5つのユニットを行います。探究学習とも関連させ、友達と協働することで実技だけでなく、チームワークや社会性も養います。iPadで技や演技を撮影し、「どうすればよいのか？」を客観的に考え出す場面も大切にしています。授業を通じて、目的のために自分は今の段階にいて、どうすれば次に進んでいけるのか？を考え、行動していける「Risk-taker」を育てます。



児童たちはiPadでスローモーション撮影をして、膝の角度や姿勢などを教える練習方法を自主的に開発。「挑戦」する心・技・体を成長させています。

## Student's Voice

平良 こはく Kohaku Taira (Grade 1)

Artの授業は、自分で想像したものをつくるからいちばん好きです。わたしは将来、お笑い芸人のようなお医者さんになるのが夢です。病気やケガで苦しんでいる人を笑顔にできる、おもしろくてやさしいお医者さんをめざします。



K・Mくん (Grade 2)

ぼくは、ぜんぶの教科が好きです。なぜかというと、体いくと音がくはセットで体をビートできるからです。Life Techは、プログラミングがたのしいからです。アートは、工作したり、好きな絵をかけるからです。日本語は、ユニットと本が同時にかわるから楽しいし、算数は、ずっとがんばりたかったからです。英語はことばのルールが学べるし、UOIでは海外で起こった事件も勉強できます。ぜんぶの教科が好きなりゆうは、先生がみんなやさしいからです。ぼくのゆめはケーキ屋さんです。コロナでくしんでいる人たちに、おкусりが入ったおいしいケーキをつくってあげたいです。

Travel the world with an understanding of international culture using Japanese and English languages

## 日・英の言語を使って 世界に羽ばたく国際教養の旅へ

### English Competency

#### 本物の英語力を育成

ただ単に聴いて話せる英語ではなく、「英語を自在に使いこなして」自分の意見を伝えたり、議論したり、思うままに記述できる能力を完成させます。

- 習得目標**
- ◆英検…5年生までに準2級レベル以上
  - ◆TOEFL Primary Step2…スコア212以上



### Intensive Japanese Instruction

#### 日本語での指導も万全に

多くの児童の第一言語である日本語をしっかりと学習。理科、社会などの国際バカロレアの探究型授業には、「英語」を取り入れながら語学力を高めさせ、日本語も活用していく授業を進めています。



### "Team Teaching" Development to Support the Language Environment

#### 言語環境を支援する「チーム・ティーチング」体制

小学部では、外国人教師と日本人教師が共に授業を計画し、児童の言語レベルや教科内容など必要に応じてチーム・ティーチングを行っています。

たとえば、授業で使う言語が英語の場合、外国人教師が主となる授業を行い、日本人教師はサポートに徹します。これによって児童は、英語環境の中でも日本人教師に頼りすぎることのない、自立した学びの形を身につけていきます。



### Professionally Addressing the Differences in Language Ability with Supplementary Classes

#### 英語・日本語の習熟度を補う【言語サポートクラス】

入学直後や年次が進んでいく中で、児童の間では英語や日本語の言語力に習熟度の差が出はじめます。児童自身の不安や、保護者のご心配を解決するために、小学部では日本語、英語の授業中に「言語サポートクラス(Pull Outクラス)」を併設して、基礎語学をしっかりと支援します。



### Utilizing Advanced ICT

#### ICT環境を授業に活用

より高い学習効果や、授業の効率化、情報社会に即応するIT技能の向上をめざして、英語や日本語、算数などの各教科から、国際バカロレアの探究学習まで、すべての児童が専用のタブレット端末(iPad)を活用。先進のICT環境を授業に取り入れています。



### Student's Voice

松根 まい Mai Matsune (Grade 3)

わたしは、アートと体育と日本語が好きです。アートは工作をしたり、いろんなそうぞうをしてカラフルな絵をかけるからです。体育はたくさん走るのが好きです。日本語は本を読んでくわしくらべたり、ポスターをつくって発表することが楽しいです。わたしの夢は、ほいくしです。小さな子のお世話をするのが好きだからです。そしていろんな国で、OISでなかったことを教えています。



### TOP 2 in Mathletics Numeracy Challenge!

算数で「世界第2位」の快挙!

#### Mathletics Numeracy Challenge



イギリス・ヨーロッパ・中東・アジアの各地域で開催される、世界中の子どもたちが算数の能力を競うチャレンジ大会「Mathletics Numeracy Challenge」。

この大会にOISの1年生～5年生が参加して、世界中からエントリーした674校の中からOIS生が見事「世界第2位」に輝きました。

### Class Schedule 小学部での一日

国際バカロレア プライマリー・イヤーズ・プログラムの探究型授業を中心に、国際バカロレアの基準に沿った教科学習を進めます。学習内容が多岐に渡るため、一般の小学校より多めの授業時間数となります。

#### Grade 1 Class Schedule 1年生クラスの時間割モデル

| Time        | Period           | Mon                           | Tue                    | Wed              | Thu                    | Fri                         |
|-------------|------------------|-------------------------------|------------------------|------------------|------------------------|-----------------------------|
| 8:30        |                  | Homeroom ホームルーム               |                        |                  |                        |                             |
| 8:35        | Morning activity | Circle Time 朝の会               | Reading 読書             | Circle Time 朝の会  | Reading 読書             | Kanji 漢字サポート                |
| 8:55~9:40   | #1               | UOI / English 英語              | UOI / Math 算数          | UOI / English 英語 | UOI / Art 美術           | UOI 探究型授業                   |
| 9:45~10:30  | #2               | UOI / English 英語              | UOI / Math 算数          | UOI / English 英語 | UOI / Art 美術           | UOI 探究型授業                   |
| 10:45~10:55 |                  | Recess 休憩                     |                        |                  |                        |                             |
| 10:40~11:25 | #3               | UOI 探究型授業                     | UOI / Japanese JFL 日本語 | UOI 探究型授業        | UOI / Japanese JFL 日本語 | UOI / Math 算数               |
| 11:30~12:15 | #4               | UOI 探究型授業                     | UOI / Japanese JFL 日本語 | UOI 探究型授業        | UOI / Japanese JFL 日本語 | UOI / English 英語            |
| 12:15~13:15 |                  | Lunch 昼食 / Free time 昼休み      |                        |                  |                        |                             |
| 13:15~14:00 | #5               | UOI / Japanese JFL 日本語        | Music 音楽               | P.E 体育           | UOI / Math 算数          | Independent Inquiry 自主探究    |
| 14:05~14:50 | #6               | UOI / Japanese JFL 日本語        | Lifetech ライフテック        | P.E 体育           | UOI / Math 算数          | PSE/Shimakutaba /Karate 道徳等 |
| 14:50~15:15 |                  | Homeroom ホームルーム / Cleaning 清掃 |                        |                  |                        |                             |

■ 英語で行われる授業 ■ 日本語で行われる授業 ■ バイリンガルで行われる授業

### Exhibition

#### エキシビション 学びの集大成

国際バカロレア プライマリー・イヤーズ・プログラムの探究学習発表会として、PYP最終学年の5年生によるエキシビションが行われます。児童がこれまでの学習で培ってきた、探究する力・まとめる力・発表する力・協働体験・知識・スキルなどのすべてを、英語と日本語の両言語で発表します。昨年度も児童が自ら興味のある社会問題を選び、〈新型コロナウイルス〉・〈絶滅危惧種〉・〈アート〉・〈ゲーム中毒〉・〈インターネット〉・〈宇宙ごみ〉・〈再生可能エネルギー〉について発表しました。



### Student's Voice

田村 佳音 Kanon Tamura (Grade 4)

私が一番好きな教科はUOIです。2番目に好きなのは体育です。私はOISで、みんなを笑顔にすること、新しいことを知ること、わからないことを一つひとつへらすことを大事にしています。私には3つの目標があります。1つめは、読書貯金通帳をクラスみんなが一冊でも多く完成させて、他の学年と比べられないぐらいの差をつけて勝つこと、そして今年、180冊の本を読みたいです。2つめは、英検2級、英検準1級に合格することです。それに向けて問題集をがんばります。3つめは、2021年の冬か2022年の春に行われる、スキー検定のジュニアの1級に合格することです。



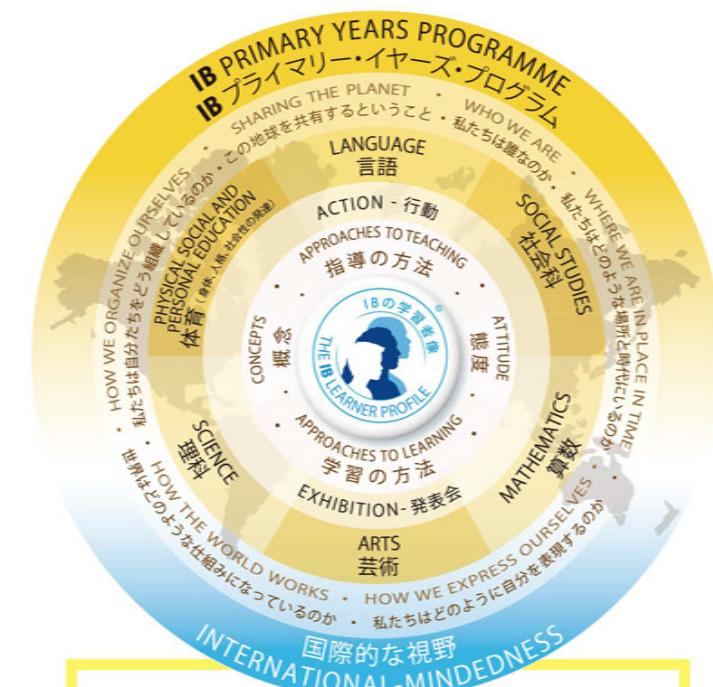
知花 温生 Atsuki Chibana (Grade 5)

OISの先生はいつも私をサポートして、間違いを教えてくれたりほめてくれたりします。学力診断テストのあとは、どんな学習をすればいいかを考えてくれます。私のように前からOISで英語に慣れてきた子は、入ってきたばかりの友だちに教えたりもします。教えるほうも教わるほうも楽しい教訓が得られるからです。私は算数と日本語が好きです。算数の授業はたまに難しいけど、先生がゲームをしたりして楽しく教えてくれます。日本語は先生が漢字を覚えやすいように工夫してくれます。ユニットにある物語について、事理的問い・概念的問い・議論的問い、を話し合うのが楽しいです。私の夢と目標は、OISで学んだ英語のスキルやIBラーナープロフィールのスキルを使って、プロのテニスプレイヤーになって世界に飛び出すことです。



### PYP model

プライマリー・イヤーズ・プログラムのモデル



### Transdisciplinary Curriculum Spanning Six Units of Inquiry

#### 教科の枠を超えた「6つのテーマ」

テーマの探究を通じて算数や社会、理科などの教科スキルを養います。同時に、教室で学ぶことと社会との「つながり」を意識させる指導も大切にします。

- テーマ1 私たちは誰なのか
- テーマ2 私たちはどのような場所と時代にいるのか
- テーマ3 私たちはどのように自分を表現するのか
- テーマ4 世界はどのような仕組みになっているのか
- テーマ5 私たちは自分たちをどう組織しているのか
- テーマ6 この地球を共有するということ



# Middle School 中学部

Grade 6  
6年生

Grade 7  
7年生

Grade 8  
8年生

Grade 9  
9年生

Providing a multilingual environment, we raise our students to become globally-minded actors

## 多言語かつ包括的な学習環境の中で国際的な視野を持つ人材を育成

中学部では、本来、小学校の段階であるGrade6(6年生)から、「国際バカロレア」のミドル・イヤーズ・プログラム(MYP)が始まります。

小学部の探究学習で培ってきた知識や能力をさらに深めて、高等部、ひいてはDPへスムーズに移行していくための重要な期間です。教科学習を通して、世界を舞台に活躍できる英語などの外国語学習を通じ、コミュニケーション能力を身につけていきます。さらに日本の伝統文化や歴史、言語も深く学び、自分自身のアイデンティティを模索しながら、真のグローバルエリートを育てます。

### MYP 3つの教育方針

Holistic-learning  
包括的学習

「すべての知識は相互に関わり合っている」という認識に基づく学びと、その指導

Intercultural-understanding  
多文化理解

「生徒・保護者・教職員が、自国や他国の文化を尊重する国際的視野

Communication  
コミュニケーション

「開かれたコミュニケーション」の重要性を理解し、そのスキルを習得する

### Class Schedule

### 中学部での一日

中学部では、国際バカロレア(IB)の探究型授業を中心に、ミドル・イヤーズ・プログラムの履修科目を学びます。

#### Grade 6 Class Schedule 6年生クラスの時間割モデル

| Time        | Mon                               | Tue                           | Wed                           | Thu                           | Fri                         |
|-------------|-----------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|
| 8:30~8:40   | Homeroom ホームルーム                   |                               |                               |                               |                             |
| 8:45~9:35   | 1st Design デザイン                   | Design デザイン                   | Individuals & Societies 個人と社会 | Sciences 理科                   | SA サービスアズ アクション / 鳥くとうば     |
| 9:40~10:30  | 2nd Individuals & Societies 個人と社会 | Visual Arts 美術                | Language & Literature 英語・国語   | Language & Literature 英語・国語   | Mathematics 数学              |
| 10:40~11:30 | 3rd Language & Literature 英語・国語   | Visual Arts 美術                | Mathematics 数学                | PHE 保健体育                      | Music 音楽                    |
| 11:35~12:25 | 4th Music 音楽                      | Sciences 理科                   | Mathematics 数学                | PHE 保健体育                      | Karate 空手                   |
| 12:25~13:05 | Lunch Break 昼食                    |                               |                               |                               |                             |
| 13:05~13:55 | 5th Language Acquisition 言語習得     | Language Acquisition 言語習得     | Sciences 理科                   | Individuals & Societies 個人と社会 | Language & Literature 英語・国語 |
| 14:00~14:50 | 6th Mathematics 数学                | Individuals & Societies 個人と社会 | Sciences 理科                   | Language Acquisition 言語習得     | Language Acquisition 言語習得   |
| 15:00~15:50 | 7th EAL 英語サポート                    | EAL 英語サポート                    | EAL 英語サポート                    | Kanji 漢字サポート                  | Independent Study 独立学習      |
| 15:50~16:20 | Homeroom ホームルーム                   |                               |                               |                               |                             |

英語で行われる授業 日本語で行われる授業 英語と日本語に分かれて行われる授業

#### Grade 9 Class Schedule 9年生クラスの時間割モデル

| Time        | Mon                               | Tue                           | Wed                           | Thu                         | Fri                         |
|-------------|-----------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 8:30~8:40   | Homeroom ホームルーム                   |                               |                               |                             |                             |
| 8:45~9:35   | 1st Language & Literature 英語・国語   | Sciences 理科                   | Individuals & Societies 個人と社会 | Language & Literature 英語・国語 | SA サービスアズ アクション / 鳥くとうば     |
| 9:40~10:30  | 2nd Individuals & Societies 個人と社会 | Design デザイン                   | Individuals & Societies 個人と社会 | Mathematics 数学              | Visual Arts 美術              |
| 10:40~11:30 | 3rd Mathematics 数学                | Mathematics 数学                | PHE 保健体育                      | Sciences 理科                 | Visual Arts 美術              |
| 11:35~12:25 | 4th Sciences 理科                   | Individuals & Societies 個人と社会 | PHE 保健体育                      | Sciences 理科                 | Language & Literature 英語・国語 |
| 12:25~13:05 | Lunch Break 昼食                    |                               |                               |                             |                             |
| 13:05~13:55 | 5th Language Acquisition 言語習得     | Language Acquisition 言語習得     | Design デザイン                   | EAP1 アカデミック英語               | Karate 空手                   |
| 14:00~14:50 | 6th EAP1 アカデミック英語                 | Language & Literature 英語・国語   | Mathematics 数学                | Language Acquisition 言語習得   | Language Acquisition 言語習得   |
| 15:00~15:50 | 7th EAL 英語サポート                    | EAL 英語サポート                    | EAL 英語サポート                    | Kanji 漢字サポート                | Independent Study 独立学習      |
| 15:50~16:20 | Homeroom ホームルーム                   |                               |                               |                             |                             |

英語で行われる授業 日本語で行われる授業 英語と日本語に分かれて行われる授業

Classes centered on the development of imagination, creativity, and organization skills

## 発想力・創造力・構想力の開発を核とする授業

カリキュラム  
Pick Up

Individuals & Societies  
個人と社会


歴史と社会科学の授業を組み合わせた年間4つのユニットで構成。授業は探究型で、若くから高次の思考を身につけていくIBのミッションに沿ってキーコンセプトを理解していきます。OISでは国際教育と同時に、沖縄の文化を知り、歴史を理解し、体験することにも重点を置いています。

初めのうちは恥ずかしがって質問をしなかった生徒も、次第に好奇心と熱意をもって、質問や討論を交わすようになり、自分と社会との関わりを主体的に学ぶ姿に変わります。

音楽と歴史を組み合わせた貴重なコラボレーション単元への参加や、古代中国を題材とした発明品の試作など、常に「新しいアイデア」を取り入れながら「生徒が中心」「少人数」の独自の学習環境を提供します。

カリキュラム  
Pick Up

Sciences 理科



人体のバランス・自然界のバランス・原子と化学反応・変化する地球、という4つのユニットで学びます。科学の世界では「魔法」のように見えても、生徒がその原理を理解すれば魔法ではなくなる。これを常に生徒の学習活動の中に提供しています。

様々な実験で好奇心を呼び覚まされた生徒たちは、より心を開いて学びを楽しむ反応を見せ始めます。

聞くだけでは忘れる。見れば覚える。やれば理解できる。チャレンジングな課題に意欲的に取り組める授業を構成しています。

カリキュラム  
Pick Up

Visual Arts 美術



美術を学ぶには多様な文化への知識と理解が重要です。生徒が精神的にも感情的にも活発であることが、この創造的なプロセスに成功をもたらします。時には授業の初めにサルサ音楽を流して高揚感を分かち合います。一人ひとりが優れた美的感覚で芸術を鑑賞し、理解し、分析し、創造する力を育むために、包括的な視覚教育をテーマとしています。

視覚的な感性を磨かれた生徒たちは、自身の創作過程を感情的に概念的にとらえていく力を身につけます。

カリキュラム  
Pick Up

Language Acquisition  
言語習得


中学部ではIBディプロマ・プログラムも視野に、早い時期から英検準1級の取得を目指します。国際標準の語学カテスト・TOEFLやIELTSに対応するため、フラッシュカードやドリルを使って年間140時間のカリキュラムを組んでいます。

カリキュラム  
Pick Up

Service as Action  
奉仕活動


多くの経験が生徒たちの「将来になりたいもの」へのインスピレーションにもつながっていきます。

生徒も教師もすべてが「愛に満ちた世界市民」として成長していくために、OISでは奉仕活動の授業も大切にしています。1つ1つの機会や経験が、生徒の人生に新しい視点や洞察力を与え、尊敬・感謝・責任・理解・協調の心で平和な社会をリードしていける、すばらしい「国際教養人」に育ちゆくことを願っています。

カリキュラム  
Pick Up

Design デザイン



デザインに関する知識と理解を深め、実践的で創造的な問題解決能力の向上を目指します。技術や革新が生活・社会・環境に与える影響まで理解を深めていくことを最終目標とします。

カリキュラム  
Pick Up

Music 音楽



音楽の授業では、9年生(MYP4)の生徒が自分たちでアレンジした曲を「ペーパー・パーカッション」で演奏。「達成感」も大切な学びの一つです。

生徒の演奏動画▶



### Student's Voice

大塚 遥輔 Yosuke Otsuka (Grade 7)

僕は社会の授業が特に好きです。1つのテーマについて調べて意見を出したあとに、クラスメートとお互いの意見について話し合う授業の進め方が気に入っています。そうすることで自分とはまったく違う意見も聞けて、視野が広がる感じもおもしろいです。将来、何になりたいかは、いま探している真っ最中です。自分が楽しめて、ほかの人に喜んでもらったり、まわりの人を助けられるような仕事につくための勉強をがんばります。



平安山 結衣 Yui Henzan (Grade 8)

私は音楽の授業が大好きです。OISでは楽器や音符の読み方を学ぶだけでなく、楽器の歴史についても先生の説明や動画で理解していきます。これは音楽以外の授業でも、ただ聞くだけではない、自分で探究して知っていく習慣になります。私の目標は卒業までに英検準一級に受かって、一般にも挑戦することです。理由は高校生になった時に、もっと難易度の高い他の検定やテストにチャレンジしたり、今までのスコアよりもっといい点数を取りたいからです。



Develop subject-specific knowledge, high ethical standards,  
and practical language skills

## 統合的な知性と高い倫理観 実践的な語学力を育成

### A Versatile Curriculum that Enhances Language Adaptability and Readiness for Various World-Standard English Proficiency Tests

#### 「言語適応能力」を高めるカリキュラムでハイレベルな資格取得を目標に

中学部ではほとんどの教科を英語で学ぶため、入学時から一定レベルの英語力が求められます。そこからさらに言語の適応能力を高めるカリキュラムを実践し、そこで身につけた英語力を測るため、英検を受験する生徒もいます。準1級、1級の取得を目指しながら、TOEFL Jr.やIBTのハイスコアにも挑みます。また漢検などの幅広い資格にもチャレンジします。



#### ■ 中学部での「英語レベル成長目標」

| 成長目標            | Grade6終了 | Grade9終了 |
|-----------------|----------|----------|
| CEFR 基準         | A2       | B1       |
| TOEFL Juniorスコア | 600-750  | 745-850  |
| 日本の「英検」         | 準2級      | 2級       |
|                 |          | 準1級・1級   |

### Language Support for Differentiated Learning

#### 「言語力の差」をサポートする体制も充実

毎日の授業を進めていくうちにどうしても、個々の言語力に多少の習熟度の差が生じてきます。生徒や保護者の不安やご心配を解決するために「サポートクラス」を併設し、基礎語学の4スキルを万全に支援。「母語・英語・日本語のマルチリンガル」を国際社会に生きる言語能力とします。



## PBL Project Based Learning

### 社会貢献や奉仕活動の成果を発表

2020年度、本スクールでは中学2年生の生徒が、国際バカロレア ミドル・イヤー・プログラムにおける探究学習の一つである「コミュニティ・プロジェクト」を実施し、ヘアドネーションの重要性についてテーマを設定した探究学習を行いました。コミュニティ・プロジェクトとは、生徒たちが自ら周辺地域のニーズに対する意識を高め、課題探究を掘り下げ、導き出した課題解決のために地域への奉仕活動等に積極的に取り組み、最後にその活動報告を英日の両言語で発表する、一連の探究学習プロセスです。問題解決型学習の積み重ねから、生徒自身も地元のみならず世界で起こっている様々な問題についての考えを述べていく力が身につけていきます。



琉球新報にも掲載されたこの活動について、発案者の2人が5分間の「動画」も作りました。



## Personal Project

### 自主的な探究活動の成果を発表【パーソナル・プロジェクト】

国際バカロレア ミドル・イヤー・プログラム(MYP)の5年生(高1生)による、集大成の探究プロジェクトです。生徒は自身の興味に基づく成果物を創作することを課されており、それは調査、計画、行動、および振り返りという一連の活動の中で創り上げられます。MYPで学んできた様々な事を独自の創造的手法でまとめ、発表するプロジェクトです。昨年の発表会では、簡単に焼けるオリジナルのグルテンフリー・レシピ・コレクションのオンラインサイトの作成や、自作の詩の小冊子作成の発表を行いました。



### Smooth transition from PYP to DP

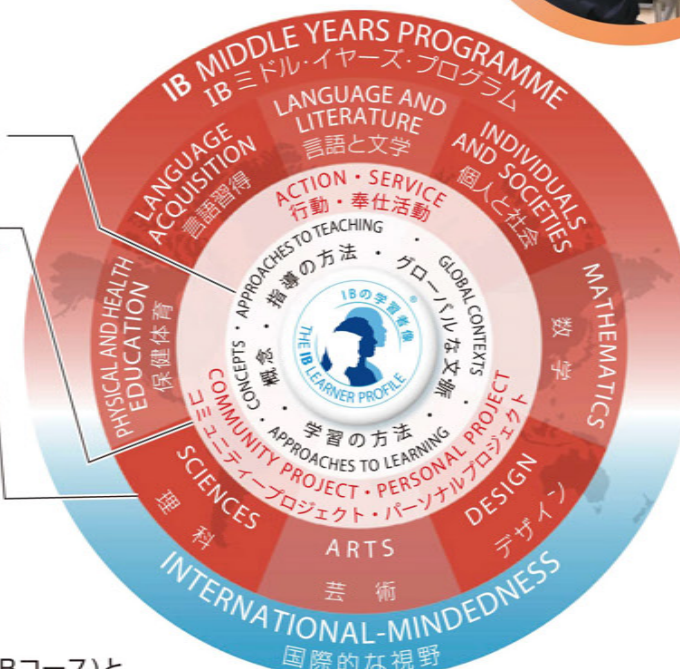
## PYP学習を生かしたDP学習の出発点

MYPでは、PYPにおける教科の枠を超えた横断的な学習モデルから、集中的な教科学習と学際的学習モデルへ移行します。PYPで培った探究の姿勢を教科学習にも応用させる、とても大事な時期です。教科学習は知識の習得のみに終わらず、「学んだことと社会がどのように結びつくのか」という考えを中心に据え、国際的な視野と能動的な学習者になれる人材の育成をめざしています。また、ディプロマ・プログラムへの出発点ともいえるMYPでは、DPIに進学する生徒に求められる技能や知識、それらに対する学習姿勢を、連続性のあるカリキュラムで習得させる環境を整えています。



### MYP model ミドル・イヤー・プログラムのモデル

- 4つの基本要素
  - ◆指導の方法 ◆グローバルな文脈
  - ◆学習の方法(ATL) ◆概念
- 自主的行動・奉仕活動
  - ◆行動・奉仕活動
  - ◆パーソナルプロジェクト
- カリキュラム
  - ◆言語習得(英語・日本語) ◆言語と文学(英語・国語)
  - ◆個人と社会 ◆数学 ◆デザイン ◆芸術(美術・音楽)
  - ◆理科 ◆保健体育



### Academic career from Middle School

## 中学部からの進路

沖縄国際学院 高等専修学校には、国際バカロレアコース(IBコース)と国際リベラルアーツコース(ILAコース)の2つのコースが設けられています。OIS中学部からの内部進学生や、県内外、海外から留学生が集い、国内外への大学進学を目標に、より専門的なカリキュラムで質の高い国際教養の知識とスキルを学びます。

OKINAWA INTERNATIONAL SCHOOL

中学部 Middle School

MYP 国際バカロレア ミドル・イヤー・プログラム

Grade10 ▶ Grade12

2つのコース

- 国際バカロレアコース
- 国際リベラルアーツコース

※詳しくは高等部のパンフレットをご覧ください

沖縄国際学院 高等専修学校

OKINAWA INTERNATIONAL SCHOOL

公式ウェブサイト

### 進路相談デスク

インターナショナルスクールの進路は、以前より非常に選択肢が増えてきました。特に国際バカロレアにおいては、文部科学省も推奨する国際認定プログラムのため、国内の国公立・私立大学も積極的に受け入れています。国内の大学をはじめ、海外進学も視野に入れた多様性のある進学カウンセリングが重要です。本スクールでは中学部から継続的な進路ガイダンスを行い、様々な可能性を示しながら目標意識を高める学びの姿勢に活かしています。



## Student's Voice

大城 萌々 Momo Oshiro (Grade 9)

私が最も好きな教科は体育です。いつも動いていることが好きな性格なので、今日は体育で何をやるのか考えるだけでもワクワクします。またこのコロナ禍の自粛中に、私はたくさんアニメを見ました。そして声優という職業に憧れました。声優さんは声だけでキャラクターの気持ちを表現して、その力で人に夢を与えることも、元気にしてあげることもできる素晴らしい仕事です。これからもっとOISで英語力も磨いて、声優へのチャレンジに生かしながら、私がそうされたように、私も誰かに夢を与えられる道へ進めたいと思います。



## Fully-Equipped Facilities 充実した施設



### Library 図書室

探究学習に役立つさまざまな書籍や資料があります。Wi-FiでPCやタブレットから素早く情報収集できる、メディアセンターとしての機能も持ちます。



### Chemistry Lab. 化学室

化学実験中の安全を守る国際基準に合わせた設備・機材を導入。講義のためのモニターやボードも設置して、高度な理論と実践の場を提供します。



### Music Room 音楽

音楽は世界共通の感性を創造します。小学部、中学部のIBカリキュラムに即応する実習設備を整えています。



### Art Room 美術室

奔放な創造意欲にこたえる芸術活動のアトリエ空間です。視覚的な感覚を、感情や文化、社会的な側面から学びます。



### School Bus スクールバス

送迎ルートは県内広域をカバー。生徒(児童)の安全で安心な登下校をサポートします。

※発着ルートなどの詳細はお問い合わせください



世界基準の専門的な探究プログラムで  
国際教養を身につける理想の環境



## A Wonderful Environment to Exercise Your Mind and Body

心も身体も元気に！  
アクティビティ環境も充実



南城市体育館



Track & Field

校舎から徒歩圏内の南城市の施設を使って、保健体育の授業や、学校行事のスポーツイベントを行ないます。



Welcome!  
Future  
Students!

やる気に満ちた生徒を  
歓迎します



Elementary 小学部



Middle School 中学部



校内研修

## Relationship with Public Schools

### 公立小・中学校／教育委員会との関係

本スクールは国際バカロレア(IB)の認定校ですが、文部科学省から一条校としての認可を受けている学校ではありません。沖縄県内の公立小・中学校に学籍を置いている児童・生徒は、そこに籍を置きながら本スクールに通学し、学ぶことになります。本スクールから児童・生徒の出欠席状況・成績などを定期的に公立学校に報告します。



## Organization Chart 組織体制

